

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を始めました。

令和3年度は中部大学において、下記のとおり実施しました。

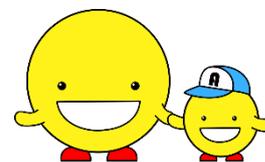
記

開催日時 令和3年11月10日（水）午後3時20分～午後4時50分

開催方法 Zoomによるオンラインセミナー

主催 愛知県・中部大学

参加者 上記大学の保健看護学科2年生、教職員等 102名



愛知県の健康づくりのキャラクター「エアフィー」

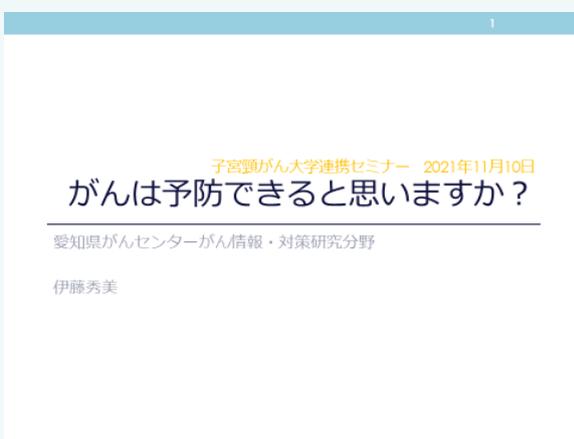
講演① がんは予防できると思いますか？

<講師>

愛知県がんセンター研究所 がん予防医療研究領域
がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美 先生

<内容>

伊藤先生には、がんができる仕組みと原因、がんを予防するための生活習慣、早期発見のためのがん検診の大切さを説明いただきました。そして若い女性に増えている子宮頸がんについても説明のうえ、参加者への子宮頸がん検診の啓発を行っていただきました。



講演② Cancer Journey-AYA 世代でがんになって-

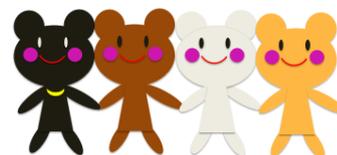
<講師>

若年がんサバイバー&ケアギバー集いの場
くまの間 代表 加藤 那津 さん

<内容>

がんの体験者である加藤さんには、がんと診断された後でも、治療と仕事の両立や様々な趣味に挑戦するなど、がんと共に前向きに生きるご自身の体験、また保健看護学科の学生さんに対し、看護師とのエピソードや理想の医療従事者像等をお話いただきました。

子宮頸がん大学連携セミナー Cancer Journey-AYA 世代でがんになって-



若年がんサバイバー&ケアギバー集いの場
くまの間 代表
加藤 那津

<参加者アンケートより>

- *がんは生活習慣と大きく繋がっていることを学ぶことができた。コロナ禍の自粛生活で生活習慣が悪くなったので、気を付けたいと思う。
- *加藤さんの、患者さんに対し「病人」としてではなく、「人」として見て接していくことが大切という言葉が印象に残った。将来看護師になった時に本日の話を活かしたいと思う。
- *セミナーを受ける前は、男性なので子宮頸がんは関係ないと思っていたが、将来のパートナーのために知識を得ておくことはとても大切だと感じた。

⇒ 子宮頸がんの認知度に関するアンケートでは、参加者の30%が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV感染であること」を知らず、また、73%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思っております。

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を始めました。

令和3年度は愛知教育大学において、下記のとおり実施しました。

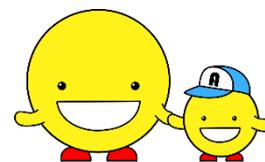
記

開催日時 令和3年12月8日（水）午後1時20分～午後2時50分

開催方法 愛知教育大学 第一共通棟 301

主催 愛知県・愛知教育大学

参加者 上記大学の学生、教職員等 38名



愛知県の健康づくりのキャラクター「エアフィー」

講演① がんは予防できると思いますか？

<講師>

愛知県がんセンター研究所 がん予防医療研究領域
がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美 先生

<内容>

伊藤先生には、がんができる仕組みと原因、がんを予防するための生活習慣、早期発見のためのがん検診の大切さを説明いただきました。そして若い女性に増えている子宮頸がんについても説明のうえ、参加者への子宮頸がん検診の啓発を行っていただきました。



講演② 大学生でがんを経験して

<講師> 山下 芙美子 さん

大学2年生でがん罹患され、現在は社会保険労務士としてご活躍されています。

<内容>

がんの体験者である山下さんから、がんと診断され、学生生活や就職、結婚など将来へ抱いた不安等をお話いただきました。そして、ご自身の体験を踏まえ、がんになってもしっかりと働ける、がんを抱えて生きることは特別なことではないと、大学生の皆さんにメッセージをいただきました。



<参加者アンケートより>

- *がんという言葉は、一人歩きしているものの、症状や辛さなどが伝わってこない部分もあったため、がんの詳細について聞いて良かった。正しい知識を知ることの大切さ及びその予防に取り組むことの重要性を知ることができた。
- *自分と同じ年代でがん罹患された方の話を聞いて、もし自分ががんになったら考えるきっかけとなった。
- *養護教諭を目指す身として、将来子どもたちにごがん教育をする時には、今日学んだことを活かしたいと思った。

⇒ 子宮頸がんの認知度に関するアンケートでは、参加者の56%が「子宮頸がんの主な発症原因がHPV感染であること」を知らず、また、41%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思っております。